

39 吉岡 まさみ 展 まちてくギャラリー 11月3日~1月31日



39回目のまちてくギャラリーは吉岡まさみさんです。吉岡さんは山形出身の作家ですが、学芸大学を卒業後教師として勤めたあと、銀座に画廊を開設して現代美術の紹介に努めてもいます。それと同時に自身も作家として積極的に作品の発表を続けています。

その作品は紙のテープをクシャクシャと固めて、まるで空中に浮かんでいるかのような錯覚を感じさせるものですが、上の写真のように壁にテープを貼り付けてそういう状況を作り出しています。

そしてその題名を「秘密の記憶」と題して、壁には写真も一緒に張られています。

「秘密の記憶」とはいつたい何ナノでしょう。本人は人には多くの記憶が沢山積み重なっていて、中には内緒にしておきたいものもある、といます。けれど、壁に張られた写真にはそのようなことを感じさせるものはなく、普通のものばかりです。「記憶」というものが積み重なって、私たちの生活に厚みを作っている。というような意味なのでしょうか。メモをつる時に間違えた箇所をクシャクシャと消すようなことがあります。記憶を消すためにこのクシャクシャがあるのでしょうか。そうでもないように感じます。